

東京都計量検定所 令和3年度の普及啓発事業

東京都計量検定所では、計量制度の普及啓発のため、各種の体験型イベントの開催や都内の他の自治体が行うイベントに参加している。令和3年度は、新型コロナウイルスにより、東京に8月末まで緊急事態宣言が発出され、普及啓発事業を例年同様に行うことができない。そのため、今年度は、これまでの体験型イベントを自粛している状況にある。



特集 とうきょうの計量 No.280

「はかり」と計量をテーマに、様々な身近な計量について、クイズラリーなどで楽しみながら学べるものを目指す。詳細は、次号(第281号)で紹介。

1、親子はかり教室
小学生と保護者を検定所に招き、所内見学やはかりの工作教室を通して計量について楽しみながら学ぶ、夏休みの児童向けイベントとして毎年恒例で実施しているが、前号(第279号)で紹介のとおり、東京都計量検定所HP内の特設Webページで9月15日まで絶賛開催中。ご家庭や100円ショップなどでそろった材料を使った棒はかりの工作や様々な計量の豆知識を提供。ぜひご家族でご覧ください。

2、都民計量のひろば
11月1日の計量記念日行事は、毎年新宿駅西口広場で「都民計量のひろば」を開催しているが、こちらも昨年引き続き現地での開催を自粛し、10月16日から12月15日までの2か月間東京都計量

協会HP内に特設ページを開設して実施。「はかり」と計量をテーマに、様々な身近な計量について、クイズラリーなどで楽しみながら学べるものを目指す。詳細は、次号(第281号)で紹介。

3、自治体主催のイベントへの出展
都内の区市町村や東京都が主催する消費生活展などのイベントに出展して、体験型の計量感覚ゲームなどを通して普及啓発を図ってきたが、今年度はコロナ禍により大部分の自治体イベントを自粛した。一部の自治体では開催するが、規模を縮小して展示のみで開催する自治体にはパネル展示による出展で、web開催の自治体には原稿の作成などで協力。

4、出前計量教室
都内の公立小学校に出向いて実施する出前計量教室については、計量器の工作やはかりの使用など児童に体験してもらったことを前提としている関係で、前号(第279号)で紹介のとおり今年度前半の実施を自粛している。後半の実施については、状況を判断し、関係機関と協議のうえ、年明けの再開を目指す。

《問い合わせ先》
東京都計量検定所管理指導課企画調整担当 電話番号 03-5617-6644
3、電子メール S0000584@section.metro.tokyo.jp

令和3年度下半期 はかり定期検査等の予定

次号は、2021年(令和3年)12月15日に発行予定。

ケート実施の決定、JIS規格見直し調査の件、S規格見直し調査の件、組合員親睦会の再開の検討の件、常会再開の検討の件

千代田区	12月3日〜2022年1月31日
板橋区	2022年1月21日〜3月29日
品川区	2022年1月1日〜3月25日
江戸川区	2022年2月1日〜3月30日
港区、中央区	9月1日〜11月1日
葛飾区	11月8日〜2022年1月20日
中央区	10月19日〜12月2日
豊島区	11月29日〜2022年1月28日
品川区	11月1日〜12月27日
品川区、江戸川区、板橋区	12月16日〜2022年3月30日
荒川区、足立区、大田区、品川区	9月2日〜2022年2月28日
葛飾区	2022年3月2日〜3月30日
環境計量器の計量証明検査	9月6日〜10月12日

令和3年度下半期 はかり定期検査等の予定

「はかり」と計量をテーマに、様々な身近な計量について、クイズラリーなどで楽しみながら学べるものを目指す。詳細は、次号(第281号)で紹介。

3、自治体主催のイベントへの出展
都内の区市町村や東京都が主催する消費生活展などのイベントに出展して、体験型の計量感覚ゲームなどを通して普及啓発を図ってきたが、今年度はコロナ禍により大部分の自治体イベントを自粛した。一部の自治体では開催するが、規模を縮小して展示のみで開催する自治体にはパネル展示による出展で、web開催の自治体には原稿の作成などで協力。

4、出前計量教室
都内の公立小学校に出向いて実施する出前計量教室については、計量器の工作やはかりの使用など児童に体験してもらったことを前提としている関係で、前号(第279号)で紹介のとおり今年度前半の実施を自粛している。後半の実施については、状況を判断し、関係機関と協議のうえ、年明けの再開を目指す。

《問い合わせ先》
東京都計量検定所管理指導課企画調整担当 電話番号 03-5617-6644
3、電子メール S0000584@section.metro.tokyo.jp

東京都計量検定所 適正計量管理主任者養成講習会(生産関係) 開催中止、資料を配布

例年7月に東京都計量検定所(一社)東京都計量協会計量管理研究部が主催する適正計量管理意識の高揚、推進及び計量管理の強化を図るため、実習を含む講習会(第6版)を開催していた。本年度も新型コロナウイルス感染症防止対策のため、実習を含む講習会を中止し、東京都が作成した資料を7月9日から東京都内の適正計量管理事業所(23)及び適正計量管理事業所以外の生産事業所(9)に配布した。配布資料は次のとおり。

①東京都計量検定所・適正計量管理事業所の指定と管理の手引き(第6版)②東京都計量検定所・計量法とその制度の概要(第5版)



「はかりの検査方法」実習のようす(2019年7月)

部会・団体 だよりの発行

東京計量士会では、2021年(令和3年)6月15日付で、第55号の会報を発行した。会報については、6月と12月の年に2回発行している。会の活動状況や計量管理に関する小学生向けの計量教室

東京計量士会(第55号)の発行

東京計量士会では、2021年(令和3年)6月15日付で、第55号の会報を発行した。会報については、6月と12月の年に2回発行している。会の活動状況や計量管理に関する小学生向けの計量教室

いち早く、計量計測関連情報をキャッチする計量計測データバンク

https://www.keiryu-keisoku.co.jp

計量法、計量計測機器、関連団体情報、コラム、寄稿などなど

計量器製作80年の伝統と信頼

株式会社三光精衡所
http://www.sanko-s.jp/
〒125-0042 東京都葛飾区金町2-1-1
TEL03-3607-2328 FAX03-3607-2348
E-mail: info@sanko-s.jp

ハカリは共栄

(寺岡)デジコンポ特約店
各種計量器・計測器・ラベラー機販売修理
[全国計量器販売事業者連合会・会員]
[認定計量器コンサルタント有資格者の店]

共栄衡器製
東京都足立区千住河原町45-6
TEL 03(3882) 8101 (代)
FAX 03(3882) 8172
E-mail: sales@kyoei-koki.com
URL: http://www.kyoei-koki.com

保守管理・代行検査業務・ISO対応計量管理業務

トラックスケール・計量装置を総合サポート

はかりのレスキュー隊

正確な技術力!現場の声を生かします

株式会社 ころぎょう 東京都江戸川区鹿骨1-6-8
ワーク衡業 (〒133-0073) TEL 03-3679-0086
FAX 03-3677-5703

ワーク衡業 検索 リーダー:ワークキューキュー 0120-809-994

CAMPBELL SCIENTIFIC, INC.
各種データロガー、センサー、ウェザーステーション、各種測定システム

Sentek technologies
Sentek Sensor Technologies
プロファイル土壌水分センサー各種

日本総代理店

おかげさまで創立80周年を迎えました。

太陽計器株式会社
http://www.taiyokeiki.co.jp
営業本部 〒335-0015 埼玉県戸田市川岸3-2-5
NKビル戸田公園
電話 048-400-5001 FAX 048-299-3666

シリーズ
計量と適合性評価 (25)
技術顧問
長野計器
奈良広一

図1 大型試験設備の系統連携認証制度(JET)による利用

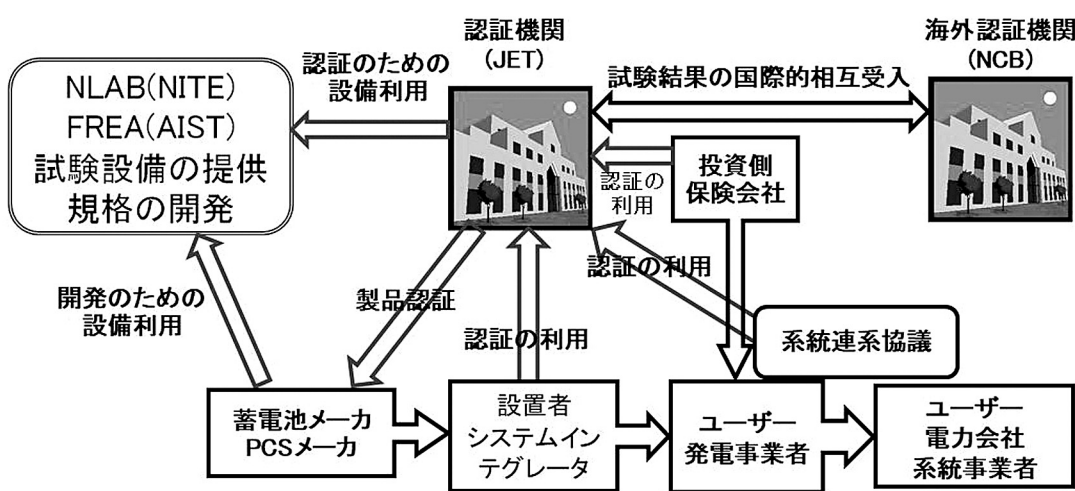


表1 両施設に関連した標準化や認証に関するイベント。

西暦	イベント
2012年	IEC TC120 (scope は Electrical Energy Storage (EES) Systems 電気エネルギー貯蔵システム) 日本提案で設立
2013年	グローバル認証基盤整備事業が補正予算により開始
2016年4月	大型蓄電池システム試験評価施設 (NLAB) (NITE)、福島再生可能エネルギー研究所 (FREA) (AIST) 運用開始
2017年7月	IEC TC120 における最初の TS (技術仕様書) の発行
2020年4月	IEC TC12 で初めての IEC 規格「蓄電池を使用した定置用大型蓄電システムの安全性 (IEC 62933-5-2) Electrical energy storage (EES) systems - Part 5-2: Safety requirements for grid-integrated EES systems - Electrochemical-based systems」発行
2021年2月	JET 系統連系認証において高圧連系認証等の運用開始
2021年3月	JIS C 4441: 電気エネルギー貯蔵システム-電力システムに接続される電気エネルギー貯蔵システムの安全要求事項-電気化学的システム」の制定 (IEC 62933-5-2)

『先端技術の認証』
その6-1大型試験
施設による認証の
後押し(下)

新規技術に対して第三者が認証(お墨付き)を与えることにより、その技術の普及を促す試みを『先端技術の認証』として数回にわたって紹介してきた。特に、前回は再生可能エネルギーの導入を念頭に、以て国内には存在しなかつた、大型パワーコンディショナー(以下PCS)及び大型蓄電池の性能・安全性に関する試験・評価を行う施設が、それぞれ国立研究開発法人産業技術総合研究所福島再生可能エネルギー研究所(以下FREER)及びFukushima Renewable Energy Institute (Fukushima Renewable Energy Institute, AIST) および独立行政法人製品評価技術基盤機構NITE蓄電池システム試験評価施設と提携。

両施設の意義を認証機関業者は送配電事業者と高圧連系の認証が開始されればならない。JETのCertification Bodyのメーカーにとってみれば、国内の系統連系協議がスムーズにいくとして差別化が図れるメリットに加え、認証にかかわる試験結果あるいは認証結果が外国でも有効であれば、ユーザーは世界中にいるはずで、認証の価値はより増加するであろう。

「系統連携協議」を進められた。前回示したように認証においては、今年2月の運用拡大のタイミングでPCSの安全規格に受け入れてもらうために先行の結果を受け入れるのが前提なのである。筆者は解釈している。JETによる高圧連系関連の認証は開始して間もないこともありJETのHPによるまだ認証まで至った例はないようであるが、その結果が外国の認証機関に受け入れられ、外国での規制への適合性評価に利用されることが期待される。

このように、PCSなど、国内の系統連系協議がスムーズにいくとして差別化が図れるメリットに加え、認証にかかわる試験結果あるいは認証結果が外国でも有効であれば、ユーザーは世界中にいるはずで、認証の価値はより増加するであろう。認証のベースとなる標準化の現状であるが、特に家庭等での活用が多い小型のリチウムイオン電池などについては、既に国内、国際ともに規格がある一方で、大型についての安全性規格、特に国際規格の整備が急がれていた。表1にあるようにこの両施設関係者の努力により標準化も行われていく。標準化に関して認証や施設の運用などのイベントと共に表1に時系列的に示した。

計量器のデパート

AND 新センサーSHSを搭載分銅内蔵電子天秤GXシリーズご用命は

SATO 温度・湿度のデータを記憶データロガー 記憶計 SK-L200THIIα

SATO 簡単操作で塩分濃度、温度、濁度を測定塩分濃度計SK-5S

全国計量器販売事業者連合会・会員 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町4-5-13 電話 03-3241-1824・7016 FAX 03-3241-3036

株式会社 三友産業社

お知らせとお願い
この特集とつきょうの計量は隔月(偶数月)に発行し、東京計量協会の会報に代わるものとして全会員に配布しております。ご意見・ご質問のほか、各部会等の動きなどは是非お寄せ下さるよう、ご支援をお願いいたします。

【編集委員(50音順)】
▽石井康二▽伊藤信男▽高田慎吾▽高松宏之▽竹添雅雅▽田中正恵▽奈良広一▽堀井茂▽山本研一▽横山守二▽吉田勝一(一社)東京都計量協会
☎03-6666-8960

残暑お見舞い、申し上げます。

日本計量新報社公式ホームページ
計量計測データバンクで「日本計量新報」のアーカイブがご覧いただけます。右のログインIDとPWでお入り下さい。

ID:5140
PW:r5kg4kpa